

つくばで輝く研究者

TAKAGI (ARAD) marina 高木(新井) 眞莉奈 さん
アサヒクオリティーアンドイノベーションズ株式会社

千葉県船橋市出身。2017年筑波大学医学群医療科学類を卒業。2019年筑波大学大学院人間総合科学研究科フロンティア医科学専攻修了。2019年アサヒビール株式会社入社、アサヒグループの基盤研究を担うアサヒクオリティーアンドイノベーションズ株式会社に配属後、現職。新製品開発に伴う酵母や乳酸菌などの有用微生物の探索や育種、それらを用いた発酵技術の開発を行っている。

「新しい価値を持った飲料や食品の創製を」これまでない価値を持った食品の創製を見据え、酵母や乳酸菌などの有用微生物の探索や育種、発酵技術の開発に従事。微生物や培養基質、温度などのさまざまなパラメータを振って試作品を分析、評価しており、目的とするラボ試作品が完成した際は、実製造に向けたスケールアップを検討すべく、工場へ出向くこともある。スーパードライやカルピスのように長年愛される製品につながるような技術の開発に取り組み、新しい嗜好(しこう)品を世の中に送り出すことが近目の目標です。人々の暮らしが豊かになるような新しい商品づくりに貢献したい。」

発酵技術の開発で 新たな嗜好品を生み出す



クリーンベンチでの培養作業

《科学者にあこがれて》

千葉県船橋市出身。小学4年生でバスケットボール部に入学して以来中学卒業までバスケットの毎日を送る。その一方で当時から、命の仕組みや自然現象に対して漠然とした興味を抱いており、勉強は理科だけが得意科目。小学校の卒業アルバムには将来の夢を「科学者」と書いた記憶があります。世界で初めてiPS細胞作製に成功した山中伸弥教授が連日テレビで放映されるようになったのもこの頃で、

医療研究者への夢は膨らんでいきました。好きなことにはとことんのめり込む性格で「友人からは幼いころは『天然』・高校以降は『クレイジー』と言われることも、

誉め言葉と受け取っていましたが、オープンキャンパスで筑波大学を訪れ、緑豊かで国際的な雰囲気、魅力を感じ入学。医療研究者を育成する学部で学び、大学4年から大学院までは睡眠障害に関する研究に勤しむ傍ら、バスケットボール部に所属し文武両道を貫いた。さらにアルバイトにも精を出し、北欧や中米、南米などへ旅行に繰り出すなど多忙を極める生活も「学生時代の経験はすべて財産です」。同級生の多くが医療分野に職を求める中、せっかくのインターンなので他業種を経験しようと思募した現在の職場で、嗜好品に命をかけている社員さんへの情熱に感銘を受けて「入社。」「なくても困らないけど、あったら人々の生活が少し豊かになる。嗜好品で人々を笑顔にしたい」と研究にまい進している。

つくばの生活

現在は千葉県在住だが「夫も筑波大学出身なので、今でもふらりと来ては食事を楽しんでいます」。学生時代は当たり前と感じていたという広々とした街並みは居心地がよく「訪れるたびにここで子育てをしたいな、と思うほど恵まれた環境。離れてもおつくばが大好きです」



安曇野で
「つくばを思い出すね」と撮影